

ネット活用 市民農園

メールで栽培アドバイス

畑の様子 自宅PCで確認

ウェブサイト制作、インターネットコンサルティング会社「シーエムエー」（浜松市中区板屋町）が、野菜栽培に興味を持っている人に農地を貸し出す市民農園事業に乗り



契約を済ませ、菜園インストラクターの指導を受けながら畑を耕す利用者（18日、浜松市西区大平台で）

出す。インターネットを使って栽培方法を指導し、利用者が交流するのが特徴だ。

同社によると、同市西区大平台の農地約1000平方メートルを、所有者の農家に代わって同社が貸し出す。今月18日に現地見学会を開き、48区画（1区画15平方メートル）の募集を始めた。

1区画で年間約30種類の野菜を育てられる。利用者が忙しくて畑に行けなくても、管理スタッフが定期的に見回り、水やりや雑草取りなどをしてくれる。

管理スタッフが、畑の様子を撮影して利用者限定サイトに公開するほか、「キュウリが収穫時です」「水やりが足りないようです」などとメー

ルを送ってくれるので、利用者は自宅にいながら畑の状態を把握できる。菜園インストラクターの資格を持つ同社社員から、土づくりや栽培、収穫の指導を受けることも可能だ。

限定サイトに、畑の様子を日記で公開したり、「ジャガイモの種芋をおわけします」などと書き込んだりして、利用者同士で情報交換ができる。収穫祭なども予定されている。

同社の島上勝則社長は「情報技術（IT）を駆使してサポートするので、初心者でも安心。ネット上で交流を深め、野菜作りを楽しんでほしい」と話す。

入会金は1万5000円、1区画の利用料は月6825円。種や苗は自己負担。農機具や水道、肥料は無料で利用できる。問い合わせはユアエージェント（0533・451・2325）へ。